

作成日

令和 年 月 日

記載例

東京の田んぼ復活プロジェクト (協働活用組織支援) 事業計画書

提出組織等名称

(仮) 田んぼ共創ラボ ●●

1 事業を実施する協働活用組織

フリガナ	タンボキョウソウラボ	
組織の名称	(仮) 田んぼ共創ラボ ●●	
氏名フリガナ	ミズホ メグミ	
代表者役職及び氏名	瑞穂 恵	
氏名フリガナ		
連絡窓口担当者役職及び氏名 (注1)	同上	
組織の主たる事務所の所在地	東京都新宿区西新宿 2 - 8 - 1	
組織の連絡先 TEL	03-5000-7287	昼間に連絡可能な代表者又は連絡窓口担当者の電話番号、携帯番号を記載してください
組織の連絡先 E-mail	tokyotanbo@bmail.com	
構成員となる個人・団体又は連携する個人・団体 (注2)	法人形態等 (注3)	主な活動
●●市産業振興課	行政機関	【構成員】
〇〇水利組合	農業者団体	【構成員】 用水路の維持管理
J A ●●	農業協同組合	【構成員】
△△農園	個人	【構成員】 農業者 水稻栽培
▲▲ファーム	個人	【構成員】 農業者 水稻栽培
NPO 法人 ▼▼	NPO	【構成員】 農園運営
青少年育成会	地域住民団体	【構成員】 農業体験、食育体験提供
(一社) ■■	一般社団法人	【連携団体】 街づくり活動
●●観光協会		【連携団体】
(株) □□	株式会社	【連携団体】 飲食店、商店との連携
△△(株)	株式会社	【連携団体】 〇〇技術の開発、機器の製造販売
◆◆小学校		【連携団体】
●●自然の会	地域住民団体	【連携団体】 自然保護活動

注1：代表者が日中連絡を取れず、別途連絡窓口担当者を設置する場合に記載してください。

注2：組織の構成員、連携する団体等を「構成員となる個人・団体又は連携する個人・団体」欄に記入してください。その際は、構成員となる個人・団体又は連携する個人・団体の別が分かるように記載してください。

注3：「法人形態等」には、地域住民団体、農業者団体、NPO 法人、株式会社、個人、農業協同組合、行政機関等の形態の別を記載してください。

注4：新たに組織を設立して申請する場合は、名称に（仮）入れ、代表者予定者を記載してください。なお、構成員については、申請前に同意を得てください。

2 事業の実施体制及び各構成の役割

実施体制図 (注1,2)	
(仮) 田んぼ共創ラボ ●●	
<p>【事務局】 代表：瑞穂 恵 事務担当：秋田 豊作 会計責任：早乙女 さなえ (計画策定、会運営事務、会計、関係機関調整、都民募集、広報PR)</p> <p>【田んぼ班】 班長：米田 耕起 (田んぼでの協働活動の企画運営)</p> <p>【用水班】 班長：水口 守 (用水路の保全管理活動の企画運営)</p> <p>【会計事務】 事務担当(見積) → 会計責任(確認) → 代表(承認) → 会計責任(支出)</p>	
<p>【構成員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○水利組合 (用水路保全管理、水利調整等) ・ JA●● (販売支援、農機レンタル等) ・ △△農園・▲▲ファーム・NP0▼▼ (水稻栽培、農業体験の指導等) ・ 青少年育成会 (農業体験、食育体験の運営協力、地元調整等) ・ ●●市産業振興課 (広報、周知、関係団体との調整等) 	
<p>【連携団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社) ■■ (協働活動の周知、運営支援等) ・ ●●観光協会 (協働活動の広報、告知支援等) ・ (株) □□ (地元商工業者、飲食店との連携支援等) ・ △△(株) (○○技術の導入連携等) ・ ◆◆小学校 (農業体験、食育体験の連携等) ・ ●●自然の会 (生き物調査の指導等) 	

会計事務の体制 (注3)			
代表者	瑞穂 恵	会計責任者	早乙女 さなえ
副代表者	米田 耕起	会計監事	稲垣 輝
会計処理の適正化と監査の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計事務は、代表者の承認を受けた上で、会計責任者が支出する。 ・ 会計監査は、会計監事が伝票等証拠帳票、現金、通帳などにより監査を実施し3月総会に報告する。 		

注1：事業に関係する者の全体像及び会計事務の審査体制が把握できるよう、図表(体制図)を用いて記載してください。

注2：業務の一部を委託する場合は、委託先の名称、業務内容及び業務範囲を記載してください。なお、事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理について委託をすることはできません。

注3：提案された事業を主導する代表者、副代表者、会計責任者及び会計監事の氏名を記載してください。なお、新たに組織を設立して申請する場合は、予定者の氏名を記載してください。また、代表者、副代表者、会計責任者及び会計監事の経歴や実績の分かる資料を添付してください。

3 事業の目的と取組の概要

本事業の目的や趣旨を踏まえつつ、組織の設立目的や活動の方針などを記載してください。
 また、地域の田んぼ・用水路の課題を踏まえ、

- ・どのような農業体験や交流促進活動を行うのか
- ・田んぼの価値をどのように伝えていくのか
- ・都民とどのような協働関係を築いていくのか
- ・これらを通して田んぼの保全活用にどのようにつなげていくのか

 などを、事業実施後の地域の田んぼ・用水路の目指す姿とともに記載してください。

4 成果目標

事 項		現在 (令和7年度)	事業1年目 (令和8年度)	事業2年目 (令和9年度)	事業3年目 (令和10年度)
田んぼに関する事項	協働活動の開催総数	回	5回	9回	11回
	上記の一般参加者総数	人	385人	435人	515人
	協働対象の農地総面積	m ²	5500m ²	5900m ²	6250m ²
用水路に関する事項	一般参加者を行う保全管理活動の開催総数	回	2回	2回	3回
	上記の一般参加者総数	人	20人	30人	40人
新たに試みる技術に関する事項			再生二期作	再生二期作 リモコン草刈機	再生二期作 リモコン草刈機

注1：事業1年目から事業3年目の数値は「5 事業実施内容の事業1年目、事業2年目、事業2年目」に記載した回数、参加者数、農地面積の数値と一致させてください。

注2：現在、構成員が一般都民の参加する体験交流、用水管理活動を行っている場合は、その実績を現在（令和7年度）欄に記載してください。

注3：新たに試みる技術に関する事項欄には、技術名を記載してください。

5 事業の実施内容

(1) 事業1年目（令和8年度）

①具体的な取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・初年度のため、5月設立総会、3月に定期総会を開催するとともに、必要に応じて臨時総会、運営委員会を開催して構成員、連携団体等相互の調整を図り円滑な運営に努める。 ・田んぼを活用した都民との協働活動は、田植えなど年●回開催する。お米ができるまでや田んぼの持つ多様な価値に対する理解が深まる内容とする。 ・農作業だけでなく収穫したお米の食育体験、わら細工など食文化、伝統文化を理解する交流活動も年●回実施する。 ・地元の青少年育成会と連携して●●小学校●年生の郊外活動として田植え等を実施する（年●回、延べ●人）。 ・地元の自然保護団体と連携して田んぼ、用水路の生き物調査を都民参加のもと実施する（●ヵ所、延べ●人）。田んぼ、用水路が多様な生き物の住処であることを都民に認識してもらい、田んぼの価値への理解醸成を図る。 ・湛水期間の延長と稲の力強さを知ってもらうため、再生2期作に挑戦する。 ・用水路の清掃、補修活動に都民の参加を募る（●回、延べ●人）。作業を通し都民に田んぼにとって用水路は不可欠な存在であることを知ってもらう。 ・用水路の補修は危険箇所、水漏れ箇所を中心に水稻のない時期に水利組合、都民と協働で実施するが、自前で施工できない部分は業者に委託して補修する。

注：新規の取組や前年度に比較して拡充する事項、農業者以外の団体等と連携した取組などを中心に記載してください。また、取組の目的や対象者がわかるように記載してください。

②協働活動ごとの実施スケジュール

4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1 2	3			4		5		6	7	← 8 →	9

注：実施する活動内容ごとに、実施スケジュールを記入してください。スケジュールの欄には、番号をふって四角や棒線で取組の実施期間を表示してください

③協働活動ごとの参加予定者数

	協働活動の内容	参加予定者	うち一般参加者	分類
1	総会（規約、計画、予算等の協議承認）	20人	人	組織・協働・用水路
2	用水路清掃（水利組合と都民との協働で実施）	30人	10人	組織・協働・用水路
3	田植え（〇〇小学校郊外活動）	120人	100人	組織・協働・用水路
4	生き物調査（都民と協働で実施）	50人	35人	組織・協働・用水路
5	稲刈り（参加者公募による協働活動）	120人	100人	組織・協働・用水路
6	わら細工（〇〇小学校郊外活動）	100人	90人	組織・協働・用水路
7	餅つき（参加者公募による協働活動）	70人	60人	組織・協働・用水路
8	用水路補修（水利組合と都民との協働で実施）	30人	10人	組織・協働・用水路
9	総会（活動報告、決算報告、実績報告書の承認）	20人	人	組織・協働・用水路

注1：実施スケジュールの番号と協働活動の内容の番号とが連動するように活動内容を記載してください。

注2：分類には該当する項目に○をしてください。「組織」：活用組織の計画策定、会員募集、情報発信など組織運営関係 「協働」：田んぼの交流イベント、協働農作業活動 「用水路」：用水路の保安全管理活動

④協働活動を行う農地

	所在地	面積	農地区分	貸借
1	●●市▲▲字◇◇123	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	貸借
2	◇◇124	500 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
3	◇◇125	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	貸借
4	△△789	800 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
5	△△963	1200 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
6	△△321	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	

注：該当の農地区分に○をし、貸借している場合は、貸借欄に貸借と記載してください。

⑤協働活動を行う用水路

	名称	活動範囲	用水組合等名 ^注
1	○○用水	××地区	○○用水組合
2	△△用水	△△地区	

注：対象の用水組合等がある場合記載してください。

(2) 事業2年目（令和9年度）

①具体的な取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて臨時総会、運営委員会を開催して活動の拡大、充実を図る。特に、都民の参加を増やすための周知活動を強化する。 ・田んぼの一連の作業を習得できる「大人の田んぼクラブ」を新たに設け、会員を募集し、田んぼの農作業をサポートできる人材を育成する（年間●回、募集●人）。 ・田んぼを身近に感じてもらう家族向けの田植え等交流イベントを開催する（年●回、延べ●人）。参加者の関心を高める工夫を行う。 ・農作業だけでなく収穫したお米の食育体験、わら細工など食文化、伝統文化を理解する交流活動も実施する。 ・△△保育園と連携して課外活動の一環として田んぼの体験交流を実施する（年●回、延べ●人）。親世代も巻き込む工夫を行う。 ・生き物調査の結果を活用して、生き物や環境に配慮した農法を試行する。 ・再生二期作に向く品種を試す。 ・リモコン草刈機を導入して畔の除草作業の省力化と事故防止を図る。 ・都民参加の用水路の清掃、補修活動を実施する（●回、延べ●人）。作業の安全性に配慮する。 ・用水路診断の結果を基に補修計画を策定し、傷んだ箇所を順次水利組合、都民と協働で補修する。なお、自前で施工できない部分は業者に委託して補修する。

注：新規の取組や前年度に比較して拡充する事項、農業者以外の団体等と連携した取組などを中心に記載してください。また、取組の目的や対象者がわかるように記載してください。

②協働活動ごとの実施スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	2 3	4 5 6	7	8		9		10	11	12	13

③協働活動ごとの参加予定者数

	協働活動の内容	参加 予定者	うち一般 参加者	分 類
1	レンゲ祭り（参加者公募による協働活動）	100人	90人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
2	総会（計画、予算等の協議承認）	20人	人	<u>組織</u> ・協働・用水路
3	用水路清掃（水利組合と都民との協働で実施）	35人	15人	組織・協働・ <u>用水路</u>
4	荒起し、畔塗作業（大人の田んぼクラブ）	20人	15人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
5	泥んこ遊び（△△保育園）	30人	25人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
6	田植え（参加者公募による協働活動）	120人	100人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
7	田植え（大人の田んぼクラブ）	20人	15人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
8	除草、追肥作業（大人の田んぼクラブ）	20人	15人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
9	稲刈り（参加者公募による協働活動）	120人	100人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
10	わら細工（参加者公募による協働活動）	60人	50人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
11	餅つき（△△保育園）	30人	25人	組織・ <u>協働</u> ・用水路
12	用水路補修（水利組合と都民との協働で実施）	35人	15人	組織・協働・ <u>用水路</u>
13	総会（活動報告、決算報告、実績報告書の承認）	20人	人	<u>組織</u> ・協働・用水路

注1：実施スケジュールの番号と協働活動の内容の番号とが連動するように活動内容を記載してください。

注2：分類には該当する項目に○をしてください。「組織」：活用組織の計画策定、会員募集、情報発信など組織運営関係 「協働」：田んぼの交流イベント、協働農作業活動 「用水路」：用水路の保安全管理活動

④協働活動を行う農地

	所在地	面積	農地区分	貸借
1	●●市▲▲字◇◇123	1000 m ²	<u>農振農用地</u> ・生産緑地・その他	貸借
2	◇◇124	500 m ²	<u>農振農用地</u> ・生産緑地・その他	
3	◇◇125	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・ <u>その他</u>	貸借
4	△△789	800 m ²	農振農用地・ <u>生産緑地</u> ・その他	
5	△△963	1200 m ²	農振農用地・ <u>生産緑地</u> ・その他	
6	△△321	1000 m ²	農振農用地・ <u>生産緑地</u> ・その他	
7	△△159-1	400 m ²	農振農用地・ <u>生産緑地</u> ・その他	

注：該当の農地区分に○をし、貸借している場合は、貸借欄に貸借と記載してください。

⑤協働活動を行う用水路

	名 称	活動範囲	用水組合等名 ^注
1	〇〇用水	××地区	〇〇用水組合
2			

注：対象の用水組合等がある場合記載してください。

(3) 事業3年目（令和10年度）

①具体的な取組内容

- ・定期総会その他、運営委員会等を開催して活動の拡大、充実を図る。また、SNS上に参加者と農業者が交流する場を構築し、今後も継続的に田んぼを支える新たなコミュニティづくりを行う。
- ・田んぼを活用した都民との協働活動は、田植えをはじめ年●回開催する。自主財源確保に向けた参加者増、協賛企業獲得につながる企画作りと情報発信を強化する。

- ・「大人の田んぼクラブ」は2年目となるので会員が関わる作業項目を年●回から年●回に増やす。(募集●人)。
- ・新たに「田んぼオーナー制度」を開始し、コアな買い支えするファンを獲得し、販路確保、収益向上を図る。(募集●組)
- ・収穫したお米の食育体験、わら細工など食文化、伝統文化を理解する交流活動を実施し、高齢者を講師として招き活躍の場を提供する。(年●回、延べ●人)
- ・生き物調査の結果を活用して、生き物や環境に配慮した農法の拡大を図る。
- ・肥培管理の改善で再生二期作の収量向上を図る。
- ・リモコン草刈機の活用範囲の拡大を図る。
- ・用水路の清掃、補修活動を実施する(●回、延べ●人)。前年より参加者数を増やす工夫を行う。
- ・用水路補修計画に基づいて傷んだヵ所を順次水利組合、都民と協働で補修する。

注：新規の取組や前年度に比較して拡充する事項、農業者以外の団体等と連携した取組などを中心に記載してください。また、取組の目的や対象者がわかるように記載してください。

②協働活動ごとの実施スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	2 3	4 5 6 7	8	9 10		11 12		13	14	15	16

③協働活動ごとの参加予定者数

	協働活動の内容	参加予定者	うち一般参加者	分類
1	レンゲ祭り(参加者公募による協働活動)	100人	90人	組織・協働・用水路
2	総会(計画、予算等の協議承認)	20人	人	組織・協働・用水路
3	用水路清掃(水利組合と都民との協働で実施)	35人	15人	組織・協働・用水路
4	荒起し、畔塗作業(大人の田んぼクラブ)	20人	15人	組織・協働・用水路
5	泥んこ遊び(△△保育園)	30人	25人	組織・協働・用水路
6	田植え(参加者公募による協働活動)	120人	100人	組織・協働・用水路
7	田植え(大人の田んぼクラブ)	20人	15人	組織・協働・用水路
8	用水路清掃(水利組合と都民との協働で実施)	30人	10人	組織・協働・用水路
9	除草、追肥作業(大人の田んぼクラブ)	20人	15人	組織・協働・用水路
10	かかし作り(田んぼオーナーとの協働活動)	50人	40人	組織・協働・用水路
11	稲刈り(参加者公募による協働活動)	120人	100人	組織・協働・用水路
12	稲刈り(田んぼオーナーとの協働活動)	50人	40人	組織・協働・用水路
13	わら細工(参加者公募による協働活動)	60人	50人	組織・協働・用水路
14	餅つき(△△保育園)	30人	25人	組織・協働・用水路
15	用水路補修(水利組合と都民との協働で実施)	35人	15人	組織・協働・用水路
16	総会(活動報告、決算報告、実績報告書の承認)	20人	人	組織・協働・用水路

注1：実施スケジュールの番号と協働活動の内容の番号とが連動するように活動内容を記載してください。

注2：分類には該当する項目に○をしてください。「組織」：活用組織の計画策定、会員募集、情報発信など組織運営関係 「協働」：田んぼの交流イベント、協働農作業活動 「用水路」：用水路の保安全管理活動

④協働活動を行う農地

	所在地	面積	農地区分	貸借
1	●●市▲▲字◇◇123	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	貸借
2	◇◇124	500 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
3	◇◇125	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	貸借
4	△△789	800 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
5	△△963	1200 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
6	△△321	1000 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
7	△△159-1	400 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	
8	△△159-2	350 m ²	農振農用地・生産緑地・その他	

注：該当の農地区分に○をし、貸借している場合は、貸借欄に貸借と記載してください。

⑤協働活動を行う用水路

	名称	活動範囲	用水組合等名 ^注
1	○○用水	××地区	
2			

注：対象の用水組合等がある場合記載してください。

6 年度別経費

事業1年目（令和8年度）					
事業区分	事業費	本補助金	その他	内 訳	
組織体制強化費	500 千円	500 千円	0 千円	会場費	50,000 円
				消耗品費	50,000 円
				日当	150,000 円
				講師謝礼	50,000 円
				委託費	100,000 円
				印刷製本費	50,000 円
				旅費交通費	50,000 円
協働活用推進費	1,250 千円	1,250 千円	0 千円	消耗品費	200,000 円
				備品購入費	300,000 円
				その他（保険料）	50,000 円
				レンタル料	200,000 円
				会場費	50,000 円
				講師謝礼	200,000 円
				日当	150,000 円
				食材費	50,000 円
				広報費	50,000 円
用水路保全管理費	1,250 千円	1,250 千円	0 千円	消耗品費	300,000 円
				備品購入費	300,000 円
				その他（保険料）	50,000 円
				レンタル料	150,000 円
				日当	100,000 円
				工事費	300,000 円
				食材費	50,000 円
合 計	3,000 千円	3,000 千円	0 千円		

事業2年目（令和9年度）					
事業区分	事業費	本補助金	その他	内 訳	
組織体制強化費	500 千円	500 千円	0 千円	会場費	50,000 円
				消耗品費	50,000 円
				日当	150,000 円
				講師謝礼	50,000 円
				委託費	100,000 円
				印刷製本費	50,000 円
				旅費交通費	50,000 円
協働活用推進費	1,000 千円	1,000 千円	0 千円	消耗品費	50,000 円
				備品購入費	200,000 円
				その他（保険料）	50,000 円
				レンタル料	200,000 円

				会場費 50,000 円 講師謝礼 200,000 円 日当 150,000 円 食材費 50,000 円 広報費 50,000 円
用水路保全管理費	1,000 千円	1,000 千円	0 千円	消耗品費 150,000 円 備品購入費 200,000 円 その他（保険料） 50,000 円 レンタル料 150,000 円 日当 100,000 円 委託費 300,000 円 食材費 50,000 円
合 計	2,500 千円	2,500 千円	0 千円	

事業3年目（令和10年度）				
事業区分	事業費	本補助金	その他	内 訳
組織体制強化費	500 千円	500 千円	0 千円	会場費 50,000 円 消耗品費 50,000 円 日当 150,000 円 講師謝礼 50,000 円 委託費 100,000 円 印刷製本費 50,000 円 旅費交通費 50,000 円
協働活用推進費	750 千円	750 千円	0 千円	その他（保険料） 50,000 円 レンタル料 200,000 円 会場費 50,000 円 講師謝礼 200,000 円 日当 150,000 円 食材費 50,000 円 広報費 50,000 円
用水路保全管理費	750 千円	750 千円	0 千円	消耗品費 100,000 円 その他（保険料） 50,000 円 レンタル料 150,000 円 日当 100,000 円 工事費 300,000 円 食材費 50,000 円
合 計	2,000 千円	2,000 千円	0 千円	

注1：内訳には別表2 補助対象経費の経費科目別に記載してください。

注2：他の補助金、助成金を活用する場合は、「その他」欄にその額及び助成団体名、助成事業名等を記載してください。

注3：補助金の交付決定前に発生する経費は補助の対象になりません

<参 考>

添付資料一覧		チェック
①	誓約書	あり・なし
②	組織の代表者の定め、会計処理、意思決定方法等について確認できる定款規約等、構成員名簿、直近3年間の事業報告書、決算書、総会議事録 ※なお、新たに組織を設立して申請する場合は、規約（案）、構成員名簿	あり・なし
③	代表者、副代表者、会計責任者及び会計監事の経歴や実績の分かる資料 ※なお、新たに組織を設立して申請する場合は、予定者の経歴や実績の分かる資料	あり・なし
④	事務局となる団体・法人がある場合には、団体等の概要、定款規約、直近3年間の事業報告書、決算書	あり・なし
⑤	構成団体、連携団体の等の概要がわかる資料	あり・なし
⑥	事業実施の確実性、継続性に関する事項に関する配点を希望する場合には、構成員が一般都民を対象とした田んぼイベントや用水路保全管理を開催した実績のわかる資料	あり・なし
⑦	事業費の内訳がわかる資料（積算資料）	あり・なし
⑧	事業を実施する田んぼ、用水路の位置図	あり・なし

注：提出する添付書類の有無を確認し、チェック欄の「あり」・「なし」に○をしてください。